

プレスリリース



世界スカウト運動創始100周年記念  
第21回世界スカウトジャンボリー



この夏、イギリスで開催  
世界155の国と地域から、4万人が集う世界最大の青少年の祭典  
日本からも1500人の青少年が参加します



第21回世界スカウトジャンボリー 21<sup>st</sup> World Scout Jamboree

2007年7月28日～8月7日 イギリス:チェルムスフォード・ハイランズパークにて開催

世界155の国と地域から、14～17歳の青少年を中心に、指導者も含めおよそ4万人が集います。

11日間のキャンプ生活の中、様々なアクティビティに挑戦し、また様々な交流プログラムに参加しながら、国籍、言語、人種、宗教、を超えた国際友情を築きます。

日本からは、1500人の派遣団が参加します。

7月22日(日)より、全国の5会場(下記)で出発直前準備訓練、派遣団結団式、壮行会などが行われ、

24日(火)には成田、中部、関西の各国際空港よりイギリスへ向け出発します。

<東京会場>	代々木・国立オリンピック記念青少年総合センター	約800人
<岐阜会場>	岐阜市市橋・ウエルサンピア岐阜	約120人
<愛知会場>	春日井市廻間町・春日井市少年自然の家	約160人
<羽衣会場>	大阪府高石市・大阪府立羽衣青少年センター	約200人
<貝塚会場>	大阪府貝塚市・大阪府立少年自然の家	約200人

子どもたちが世界ジャンボリーをレポートします。

また、各国の参加青少年の一部は「スカウト通信員: Young Correspondent」として、ジャンボリー会場から各国のメディアに向け、ジャンボリーのレポートを行います。日本からは40人がスカウト通信員となります。ジャンボリー会場からは毎日様々なニュースを発信してまいります。報道につき、ご高配賜れば幸いです。



## ご取材、報道扱いのお願い

出発直前準備訓練(前紙に示した5つの会場でそれぞれ実施します)

7月22日(日)、23日(月)、24日(火)の出発直前準備訓練では、主に下記の時間帯がご取材に適しているかと存じます(各会場により若干時間が異なる場合がありますが、概ね相違ありません)。

22日(日) 夜8時～ イギリスで披露する日本の踊りなどの練習

23日(月) 午前11時～ 結団式 各会場で全派遣参加者が集合するボーイスカウトのセレモニーです。  
(派遣団として揃いで着用するネッカチーフの伝達などがあります)

正午～ 壮行昼食会 (保護者などを交えた懇親レセプションです)

24日(火) 早朝より順次 各会場からバス移動。成田、中部、関西の各国際空港から出発します。

### 大会現地からのニュース

渡英した子どもたちはホームステイ、ロンドン見学などを経て、27日(金)にジャンボリー会場へ入ります。

その後28日(土)の開会式からジャンボリーに参加。8月1日のスカウティングズ・サンライズ記念式典や、8月7日(火)の閉会式が主なイベントになりますが、期間中毎日、様々な野外でのアクティビティや国際交流を体験します。

その間、各国から選ばれた参加者(日本参加者からは40人)がいわゆる少年レポーターのような活動を行います。現地でのTVレポートや、大会会場で配布されるジャンボリー新聞への記事づくりなどにあわせ、各国のメディアへのニュース発信もその活動の一つです。当連盟でもその発信をサポートいたしますので、どうぞ受信・報道をご検討賜れば幸いです。

### お問い合わせ・取材のご連絡など

お問い合わせ、取材のご連絡などは下記宛お願いいたします。また、ご取材、記事扱いなどが難しい場合でも、上記イギリスからのレポート受信先だけでもご教示願えれば幸いです。

#### 財団法人ボーイスカウト日本連盟

普及広報グループ 広報チーム 担当:木本

電話:0422-31-5163

FAX:0422-31-5162

Eメール: pr@scout.or.jp

標題を「世界ジャンボリー情報配信希望」として上記宛Eメールをいただければ、日々様々な世界ジャンボリー情報をお送りいたします。

何卒よろしく願いいたします。





## 世界スカウトジャンボリー関連情報

### スカウト運動について

1907年、イギリス人のロバート・ベーデン パウエル卿により、英国のブラウンシー島で行われた「実験キャンプ」を基に出版された少年のための野外活動教本『スカウティング・フォア・ボーイズ』から始まった青少年社会教育運動です。

1908年にこの本が発行されると瞬く間に世界に広がり、その後今では世界スカウト機構に155の国と地域から2,600万人が正式に加盟。準加盟国を含めると、216の国と地域でおよそ2,800万人が活動しており、日本では現在およそ18万人余がボーイスカウト活動に参加しています。

### 世界スカウトジャンボリーについて

4年に1度の周期で開催されている、世界のボーイスカウトの祭典。その第1回は、1920年、イギリス・ロンドン・オリンピックで開催され、参加者は8,000人余。毎回世界の各地で会場を変えながら開催されており、主に北半球で開催される場合は7月から8月にかけて、南半球の場合は12月から1月にかけて開催されています。日本では1971年に第13回大会が静岡・朝霧高原で、開催されています。

今回の第21回大会は世界のスカウト運動創始100周年にあたり、ボーイスカウトが始まったイギリスで開催されることもあり、スカウト運動にとっては特別な式典ともなります。

### 今後の世界スカウトジャンボリーについて：日本開催招致活動中です

世界スカウトジャンボリーの開催地については3年に1度開催されている「世界スカウト会議」での投票で決められます。次回2011年の開催地はスウェーデンに決まっていますが、その次の2015年に開催される第23回大会については、来年7月に韓国・済州島で開催される世界スカウト会議で決定される予定です。この第23回世界スカウトジャンボリーを3万人規模でぜひ日本で開催しようということで、先ごろ当連盟は世界に向け立候補のエントリーを行いました。9月までには世界スカウト機構による会場視察などを経て、正式な立候補が受け付けられることとなります。日本の招致会場は山口県山口市・きらら浜です。

トリノ・オリンピックでさえ80の国・地域から選手団は2,633人で、かつその多くは成人でした。世界の150を超える国や地域から3万人もの青少年が集る世界スカウトジャンボリーは、他に類を見ない青少年の一大事業といえるでしょう。日本での開催が実現すれば、日本の青少年教育において大きなインパクトを与えることでしょう。

### 8月1日は「スカウティングズ・サンライズ」：ボーイスカウトの新しい世紀の夜明けです

1907年にボーイスカウトの起源となった実験キャンプが始まったのがこの日。この運動の100年目を迎えるにあたって、世界の各地でこれを祝うセレモニーなどが行われます。第21回世界スカウトジャンボリーの会場でも全参加者が集い、また各国の代表が実験キャンプの行われたブラウンシー島に集い、この日を祝います。

当連盟でも、現地からの祝典の様子をホームページやEメールで各地へ発信します。

また、大会の主催となる世界スカウト機構、開催ホストとなるイギリス連盟からも様々な形でニュースが配信されることになるかと思われます。

